

# エコアクション21

## 環境活動レポート

活動期間：2017年12月1日から2018年11月30日まで



発行日：2019年2月15日

改定日：2019年8月27日

東洋通信工業株式会社

〒452-0803 名古屋市西区大野木二丁目18番1

TEL:052-505-9011 FAX:052-505-9010

URL <http://www.toyotsushin.co.jp>

# 目 次

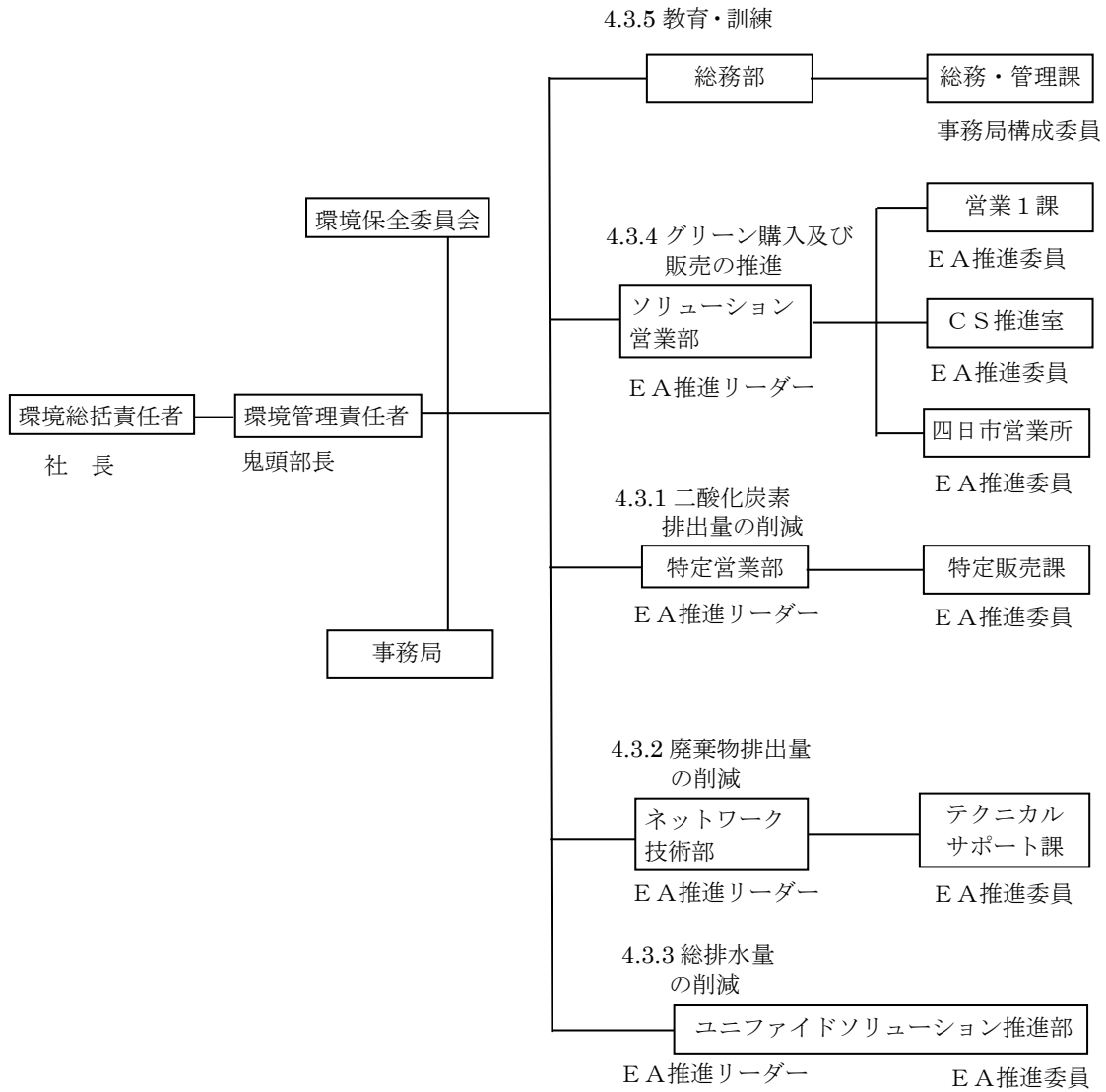
1. 組織概要・対象範囲	2 頁
2. 組織の役割、責任及び権限	3・4 頁
3. 環境方針	5 頁
4. 環境活動計画と実績	6 頁
4.1 環境活動	
4.2 環境活動目標（3 期分）	7 頁
4.3.1 環境活動実績	8 頁
4.3.2 環境活動実績	9 頁
4.4 環境負荷の状況（過去 3 期分）	10 頁
5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	11 頁
6. 代表者による全体評価と見直しの結果	12 頁
7. 環境活動計画における次年度からの取組	12 頁
8. 社会貢献活動	12 頁

## 1. 組織概要・対象範囲

商号	東洋通信工業株式会社
設立	1956年（昭和31年）2月10日
資本金	18,165千円
事業年度	12月1日～11月30日
建設業 許可番号	国土交通大臣許可（一般）第324号
事業内容	情報通信のネットワークインフラの運用提案販売及び工事・保守
年商	8億3,280万円（2018年11月末）
代表者	代表取締役 澤田 政英
本社	〒452-0803 名古屋市西区大野木二丁目18番1 TEL052-505-9011 FAX052-505-9010 URL <a href="http://www.toyotsushin.co.jp">http://www.toyotsushin.co.jp</a>
四日市 営業所	〒510-0065 三重県四日市市中浜田町3番7号 TEL059-352-7703 FAX059-352-7702
総人員	47名（2018年11月末）
取引銀行	三重銀行・名古屋銀行・商工中金・三井住友銀行・三菱UFJ銀行
対象範囲	全組織・全活動（本社 44名 四日市 3名）

## 2. 組織の役割、責任及び権限

2018年11月30日現在



注：各部の上を書いてあるのは各部に割り当てた環境活動項目を示す。  
(詳細 4.1 環境活動参照)

1. 環境総括責任者（社長）

- ①環境マネジメントシステムの統括的な責任と権限を有する。
- ②環境マネジメントに必要な経済資源を用意する。
- ③環境管理責任者を任命する。

2. 環境管理責任者（鬼頭部長）

- ①環境マネジメントに関する構造及び運用責任及び権限を有する。
- ②環境総括責任者に環境マネジメントシステムの実績を報告する責任を有する。

3. 環境保全委員会

- ①環境総括責任者を委員長として、環境管理責任者、エコアクション推進リーダー、事務局で構成する。
- ②開催は年1回とし、委員長が必要と認めた場合は臨時に開催できる。
- ③活動計画、目標の達成状況、環境関連の法規則の遵守状況等を確認し、是正、評価を行う。
- ④中長期目標を設定する。

4. エコアクション(EA)推進リーダー

各部署の所属長をリーダーとし、各部署に割り当てられた 5.1 から 5.5 の環境活動項目の推進責任者とする。

5. エコアクション(EA)推進委員

各環境活動項目を推進する。

6. 事務局

事務局長を木村課長とし、下記の事項を行う。

- ①環境マネジメントシステムの構築及び維持を行う。
- ②環境保全委員会の議長と事務局を担当する。
- ③環境活動の進捗状況の確認を行う。
- ④活動の取り組み状況を社内外に公表するための取り纏めを行う。

### 3. 環境方針

#### 環境基本理念

当社は、情報通信技術を核に、I Pネットワークシステムの提案、工事、保守を通じて、お客様のニーズに応えるとともに、かけがえのない地球の環境を大切に、積極的に環境保全に配慮した活動を行います。

#### 環境行動指針

1. 環境目的及び目標を定め、定期的に見直し、汚染の予防と汚染の改善及び当社の環境活動の仕組みの継続的改善に努めます。
2. 環境関連法令・条例・当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 地球温暖化防止・省エネルギー活動の推進に努めます。
4. 分別回収によるリサイクル活動を推進し、廃棄物の削減に努めます。
5. 地域社会貢献に努めます。
6. 環境方針は文書化し当社社員及び会社に関係する全ての人々に周知します。
7. 環境方針は、外部からの要求に応じて公開します。

制定月日 2006年11月08日

2版改訂月日 2009年12月01日

3版改定月日 2014年02月01日

東洋通信工業株式会社

代表取締役 澤田 政英

## 4. 環境活動計画と実績

### 4.1 環境活動

項	目	具体的取組内容
4.1.1 二酸化炭素 排出量の削減	1) 電気使用量	照明の休憩時等不必要時の消灯
		PCの省電力設定、電源プランで稼働時間の短縮設定
		給湯器は、5月～10月 OFF、11月～4月は60℃設定
		電気ポット使用は11月～5月、保温温度80℃
		常時稼働エアコンのフィルタは3ヶ月に1度(3月・6月・9月・12月)清掃
		換気扇の適宜のON・OFF
		ブラインドやカーテンでの熱の調整
		クールビズ・ウォームビズの実施
	2) ガソリン使用量	エンジンをかけたらずぐアクセルを踏まない(5秒で時速20kmに達するのが目安)
		急発進・急加速・空ぶかしの排除
		カーエアコンのこまめな調整
		減速、停止時は早めにアクセルオフ 時速50kmの場合は停止線から200m 時速60kmの場合は300m手前を目安
		タイヤの空気圧の適正維持
		エコカーの導入
4.1.2 廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物のリサイクル及び削減	裏紙使用、使用済封筒の活用
		ごみの分別
		現場での廃棄物の分別
		書類のペーパーレス化
	2) 産業廃棄物の抑制及びリサイクル	マニフェストによる適正処理
		線材くずのリサイクル 現場からの撤去品のリサイクル
4.1.3 水使用量の削減	上水	手洗い、洗い物時の節水
		トイレの水洗レバーは、常に「小」側に倒す
4.1.4 グリーン購入及び販売の推進		省エネ基準適合商品の購入
		コピー用紙、名刺等環境に配慮した紙の購入、使用及び環境に配慮した物品、製品の購入の推進
4.1.5 教育・訓練		毎期7月に実施

## 4.2 環境活動目標（3期分）

削減率は基準値(62期)から每期3%

項目		単位	基準値 62期	63期	64期	65期	
二酸化炭素 排出量	電力使用量	本社	41,802	40,548	39,332	38,152	
		四日市	5,246	☆4,721	☆4,721	☆4,721	
		三河	☆1,400	☆1,400	☆1,400	☆1,400	
		名大	☆1,729	☆1,729	☆1,729	☆1,729	
		菱興	☆1,879	☆1,879	☆1,879	☆1,879	
		合計	52,056	50,277	49,061	47,881	
		Kg-CO2	25,247	24,490	23,755	23,042	
	ガソリン 使用量	本社	ℓ	35,439.97	34,376.77	33,345.47	32,345.11
		四日市	ℓ	5,343.08	5,182.79	5,027.31	4,876.49
		合計	ℓ	40,783.05	39,559.56	38,372.78	37,221.6
		Kg-CO2	94,616.68	91,778.18	89,024.85	86,354.09	
	(車両台数)	台	32	32	32	33	
廃棄物 排出量	可燃・不燃		円/人数	2,760	2,677	2,597	2,519
	資源		円/人数	1,554	1,507	1,462	1,418
	産 業	プラスチック	Kg	1,693	1,646	1,597	1,545
		金属屑	Kg	2,470	2,396	2,324	2,254
水 使 用 量	本社	上水	m <sup>3</sup>	257.0	249.3	241.8	234.5
	四日市		m <sup>3</sup>	18.0	17.46	16.94	16.43
	合計		m <sup>3</sup> /人数	5.98	5.78	5.51	5.23
		(社員数)	人	46	46	47	48
グリーン購入及び販売の推進		仕入高	213.2	219.6	226.2	233.0	

- ・ 電力(中部電力)の平成28年度(2016年)のCO<sub>2</sub>排出係数 0.485 kg-CO<sub>2</sub>/kWh
- ・ ガソリンのCO<sub>2</sub>排出係数 2.32 kg-CO<sub>2</sub>/ℓ
- ・ グリーン購入はNECのグリーン機器類の仕入高
- ・ 化学物質は使用していませんので設定していません
- ・ 四日市の電力使用量の63期は62期より10%削減目標にした。
- ・ 数値の前の☆の個所は、維持管理目標
- ・ 項目の( )は原単位のための数値
- ・ 12頁の7. 環境活動計画における次年度からの取組参照
- ・ 62期は2015.12.1~2016.11.30、63期は2016.12.1~2017.11.30、64期は2017.12.1~2018.11.30、65期は2018.12.1~2019.11.30



### 4.3.1 環境活動実績

項 目	具体的取組内容	評価	
4.1.1 二酸化炭素 排出量の削減	1) 電気使用量	照明の休憩時等不必要時の消灯	○
		PCの省電力設定、電源プランで稼働時間の短縮設定	○
		給湯器は、5月～10月 OFF、11月～4月は60℃設定	○
		電気ポット使用は11月～5月、保温温度80℃	○
		常時稼働エアコンのフィルタは3ヶ月に1度(3月・6月・9月・12月)清掃	△
		換気扇の適宜のON・OFF	△
		ブラインドやカーテンでの熱の調整	○
		クールビズ・ウォームビズの実施	○
	2) ガソリン使用量	エンジンをかけたらずぐアクセルを踏まない(5秒で時速20kmに達するのが目安)	△
		急発進・急加速・空ぶかしの排除	△
		カーエアコンのこまめな調整	△
		減速、停止時は早めにアクセルオフ 時速50kmの場合は停止線から200m 時速60kmの場合は300m手前を目安	△
		タイヤの空気圧の適正維持	×
		エコカーの導入	○
4.1.2 廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物のリサイクル及び削減	裏紙使用、使用済封筒の活用	○
		ごみの分別	△
		現場での廃棄物の分別	△
		書類のペーパーレス化	○
	2) 産業廃棄物の抑制及びリサイクル	マニフェストによる適正処理	○
		線材くずのリサイクル 現場からの撤去品のリサイクル	○
4.1.3 水使用量の削減	上水	手洗い、洗い物時の節水	△
		トイレの水洗レバーは、常に「小」側に倒す	△
4.1.4 グリーン購入及び販売の推進		省エネ基準適合商品の購入	○
		コピー用紙、名刺等環境に配慮した紙の購入、使用及び環境に配慮した物品、製品の購入の推進	○
4.1.5 教育・訓練		毎期7月に実施	○

・評価は、具体的取組内容に対し取組程度を○：達成できた △：活動にばらつきがある  
×：達成できなかったで表記した。

### 4.3.2 環境活動実績

項目		単位	基準値	目標	実績	目標値と実績の増減%	評価	
			2016年 62期	2018年 64期				
二酸化炭素排出量	電力使用量	本社	KWh	41,802	39,332	45,298	15.2%	×
		四日市		5,246	4,721	3,684	-22.0%	○
		三河		1,400	1,400	1,272	-9.1%	○
		名大		1,729	1,729	2,122	22.7%	×
		菱興		1,879	1,879	1,433	-23.7%	○
		合計		52,056	49,061	53,809	9.7%	×
			Kg-CO2	25,247	23,755	26,097	9.9%	×
	ガソリン 使用量	本社	ℓ	35,439.97	33,345.47	32,467.10	-2.6%	○
		四日市		5,343.08	5,027.31	3,391.47	-32.5%	○
		合計		40,783.05	38,372.78	35,858.57	-6.6%	○
		Kg-CO2	94,616	89,024.85	83,192	-6.6%	○	
		(車両台数)	台	32	32	32	-	-
二酸化炭素総排出量		Kg-CO2	119,863	112,780	109,289	-3.1%	○	
廃棄物 排出量	可燃・不燃ごみ		円/人数	2,760	2,597	1,419	-45.3%	○
	資源ごみ			1,554	1,462	1,357	-7.2%	○
	産 廃	プラスチック	Kg	1,693	1,597	2,603	63.0%	×
		金属屑		2,470	2,324	1,965	-15.4%	○
水 使用 量	本社	上水	m <sup>3</sup>	257.0	241.8	258.0	6.7%	×
	四日市			18.0	16.9	18.0	6.3%	×
			m <sup>3</sup> /人数	5.98	5.51	5.87	6.6%	×
	合計		(社員数)	人	46名	47名	47名	-
グリーン購入及び販売の推進		仕入高		213.2	226.2	99.2	-56.1%	×

- ・ 電力(中部電力)の平成 28 年度の CO<sub>2</sub> 排出係数 0.485 kg-CO<sub>2</sub>/kWh
- ・ ガソリンの CO<sub>2</sub> 排出係数 2.32 kg-CO<sub>2</sub>/ℓ
- ・ 仕入高の単位は百万円
- ・ グリーン購入は NEC のグリーン機器類の仕入高
- ・ 評価は、目標に対して達成できた場合○、ばらつきがある場合△、達成できなかった場合×、-は評価せず(単位と別の表記の項目あるいはどちらか一方で評価済み)
- ・ 化学物質は使用していませんので設定していません
- ・ 項目の( )は原単位のための数値
- ・ 62 期は 2015.12.1~2016.11.30、64 期は 2017.12.1~2018.11.30

#### 4.4 環境負荷の状況（過去3期分）

項目			単位	61期	62期	63期	
二酸化炭素排出量	電力使用量	本社	KWh	46,790	41,802	42,346	
		四日市		5,175	5,246	4,004	
		三河		-	1,400	1,338	
		名大		-	1,729	2,019	
		菱興		-	1,879	1,634	
		合計		51,965	52,056	51,341	
				Kg-CO2	25,203.	25,247	24,900
	ガソリン使用量	本社	ℓ	34,275.07	35,439.97	34,490.63	
		四日市		8,287.99	5,343.08	3,230.98	
		合計		42,563.06	40,783.05	34,721.61	
					Kg-CO2	98,746.30	94,616.68
	(車輛台数)		台	32	32	32	
廃棄物排出量	可燃・不燃		円/人数	3,431	2,760	1,234	
	資源			1,076	1,554	900	
	産業	プラスチック	Kg	3,412	1,693	1,992	
		金属屑		7,403	2,470	1,789	
水使用量	本社	上水	m <sup>3</sup>	279.0	257.0	262.0	
	四日市			19.0	18.0	18.0	
	合計		m <sup>3</sup> /人数	6.47	5.98	6.08	
	(社員数)		人	46	46	46	
グリーン購入及び販売の推進			仕入高	285.2	213.2	122.9	

- ・ 電力(中部電力)の平成28年度のCO<sub>2</sub>排出係数 0.485 kg-CO<sub>2</sub>/kWh
- ・ ガソリンのCO<sub>2</sub>排出係数 2.32 kg-CO<sub>2</sub>/ℓ
- ・ 売上高、仕入高の単位は百万円
- ・ グリーン購入はNECの機器類の仕入高
- ・ 化学物質は使用していませんので設定していません
- ・ 60期は2013.12.1～2014.11.30、61期は2014.12.1～2015.11.30日、62期は2015.12.1～2016.11.30
- ・ 61期 三河、名大、菱興の電力使用量は未計測

## 5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

### 適応される法律と対応

法令等の名称		対象及び要求事項	遵守状況確認	確認
1	消防法	防火 ・消防設置場所・火の始末、消灯、施錠	最終退出者	○
2	廃掃法	保管場所、保管状態 廃棄物指定業者への引渡し ・マニフェストの処理、管理及び6月末迄の知事への状況報告	事務局	○
3	フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検		○
4	リサイクル法	指定再資源化製品(小型二次電池) ・ニッケル、カドミウム電池 ・ニッケル水素電池・リチウムイオン電池 ・小型シール鉛蓄電池		○
5	家電リサイクル法	特定家庭用機器再商品化等 ・ユニット形エアコン ・ブラウン管式テレビ ・電気冷蔵冷凍庫 ・電気洗濯機		
6	自動車リサイクル法	使用済自動車		
7	産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例(名古屋市)	廃棄物の減量及び適正処理		○
8	市民の健康と安全を確保する環境保全に関する条例	アイドリングストップ		○
9	三重県環境保全に関する条例	アイドリングストップ		四日市(営) ○

\*法制度の最新状態維持のため上期(5月)、下期(11月)事務局により確認した場合、確認欄に○を表記、されなかった場合は×を表記

環境関連法規への違反、訴訟、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

## 6. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境に大きな負荷をかける二酸化炭素排出量は、グロス（電力使用量+ガソリン使用量）で目標は達成できたが、本社の電力が目標値から15.2%も上回った。

要因としては、前期（63期）売上より約1億円下回り約8億3千万円の売上で、2期連続減収となった。その結果、技術員の稼働率が67%と悪く、ちなみに前期（63期）は71.5%であった。

従って、社内に居る時間が多くなり、電力及び水使用量が増えたと考えられる。

グリーン購入及び販売の推進の仕入高も売上に比例し下がり、結果目標から大きく未達になった。

廃棄物排出量も、概ね、減収により減量となったが、産廃のプラスチックごみが目標から63%も上回った要因は分からない。

体制、方針、目標については見直しせず65期に取り組む

2019年2月15日

東洋通信工業株式会社

代表取締役 澤田 政英

## 7. 環境活動計画における次年度からの取組

前期からは、維持管理に活動を切り替え行なっている。

次年度は、効率よく業務を推進し生産性を上げるべく、整理整頓をメインの活動として、目標をクリアしてゆく。

## 8. 社会貢献活動

毎月第一水曜日、地域清掃活動を実施

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ① 12月 6日 36名参加 | ② 1月 10日 37名参加 |
| ② 2月 7日 36名参加  | ④ 3月 7日 37名参加  |
| ⑤ 4月 4日 41名参加  | ⑥ 5月 9日 39名参加  |
| ⑦ 6月 13日 34名参加 | ⑧ 7月 11日 38名参加 |
| ⑨ 8月 8日 44名参加  | ⑩ 10月 3日 43名参加 |
| ⑪ 11月 7日 32名参加 |                |

9月は雨天の為中止